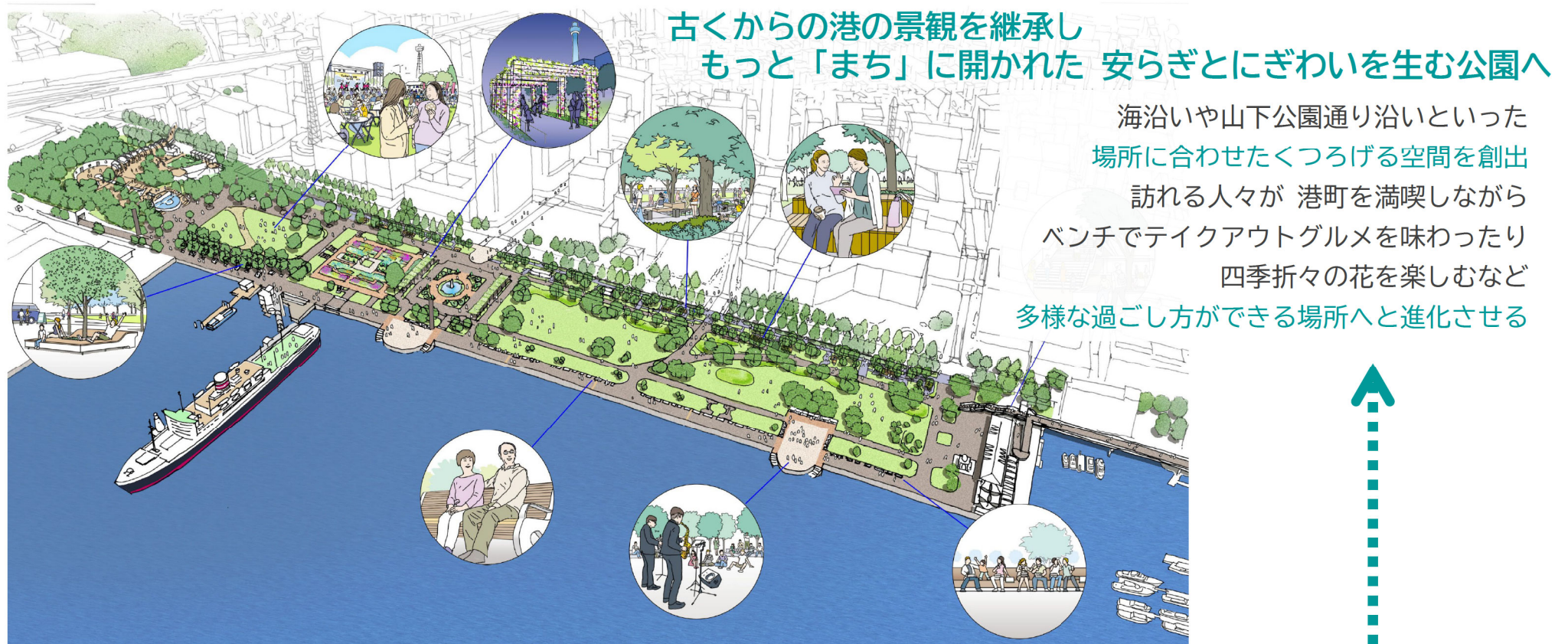
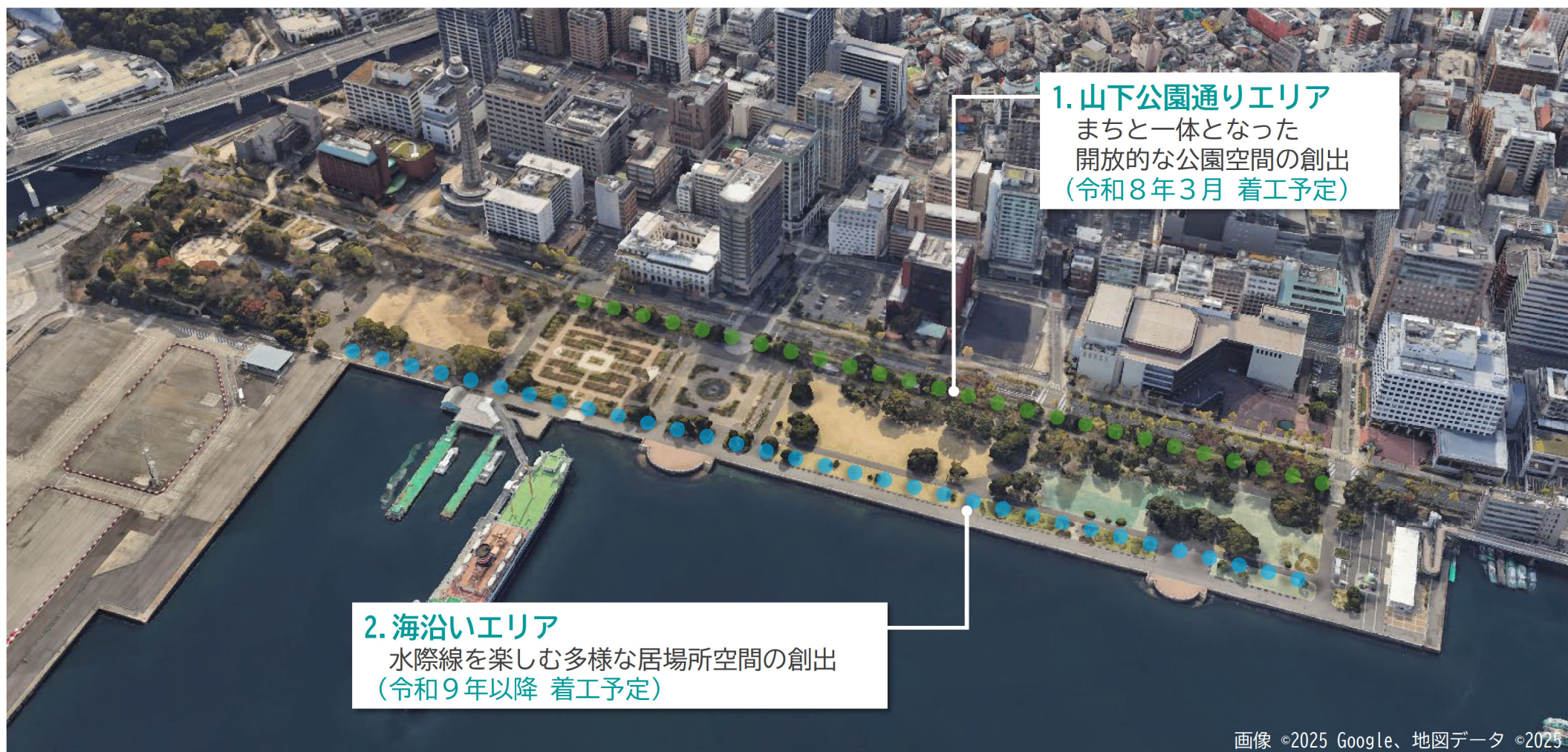


02 水際線まちづくりにおける山下公園整備の目的



公園周辺は、横浜を象徴する景観が集まるエリア
—ベイブリッジや氷川丸を望む港の風景
—イチョウ並木やホテルニューグランドなどの
山下公園通りの歴史的な街並み

◇具体的な整備概要

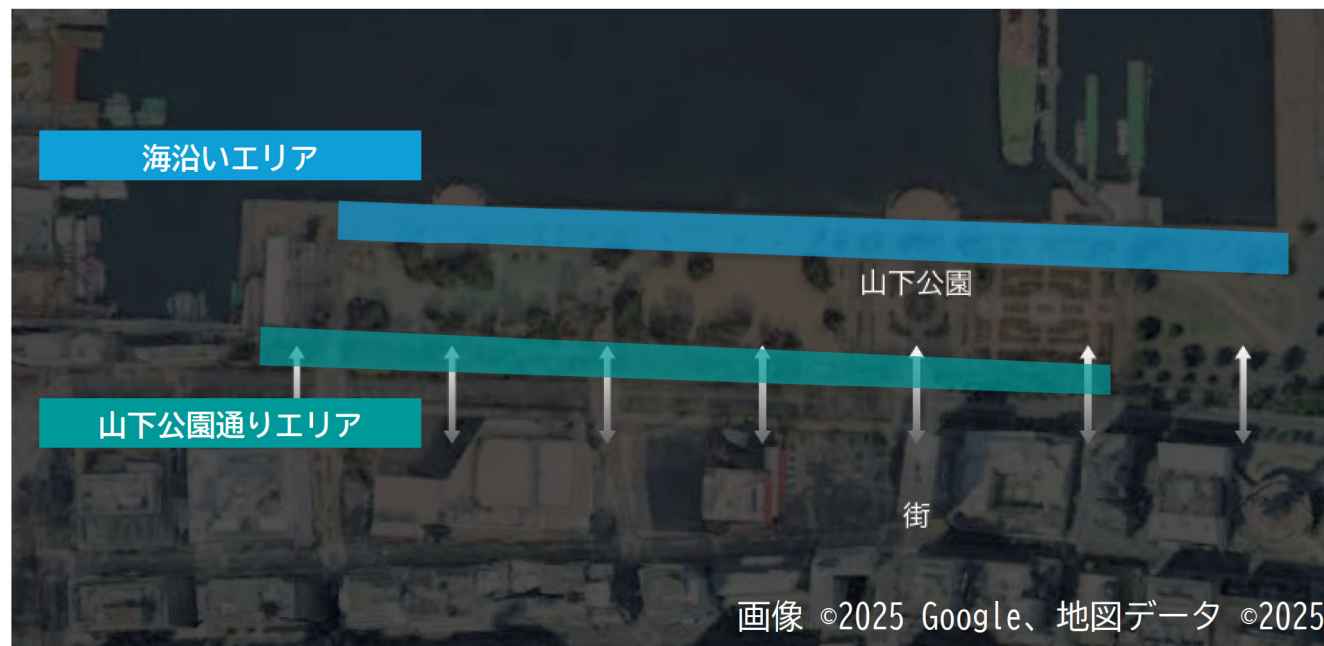


山下公園通りエリア

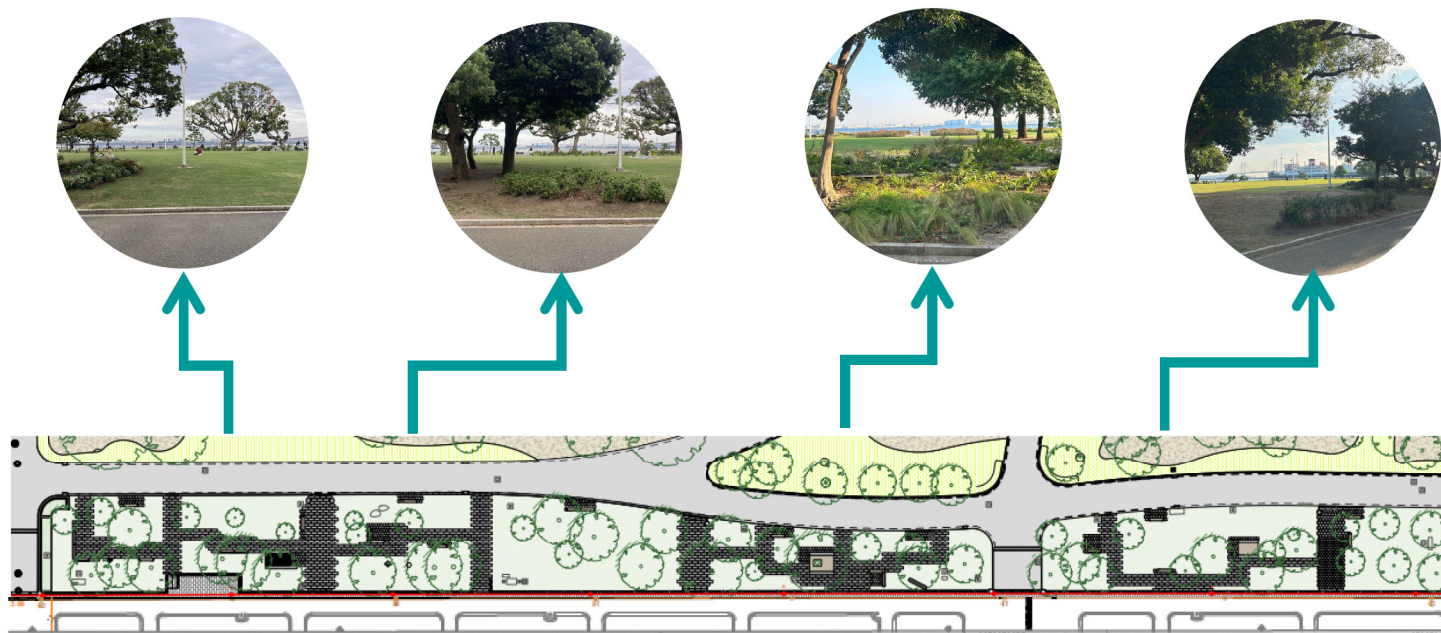
山下公園通りの歴史と重厚感のある雰囲気を読まえながら、
海側の公園とも調和し一体感のある景観を形成するデザインとする

海沿いエリア

ベンチなどに多人数での利用を想定した機能を持たせ、
海沿いの景観に合うような、港のモチーフを踏まえたデザインとする



港の景色や芝生広場・花を臨む



ワーフハウス側

公園、港、山下公園通りの景観を楽しみながら
木々の下のベンチや縁台で憩えるよう配置を検討

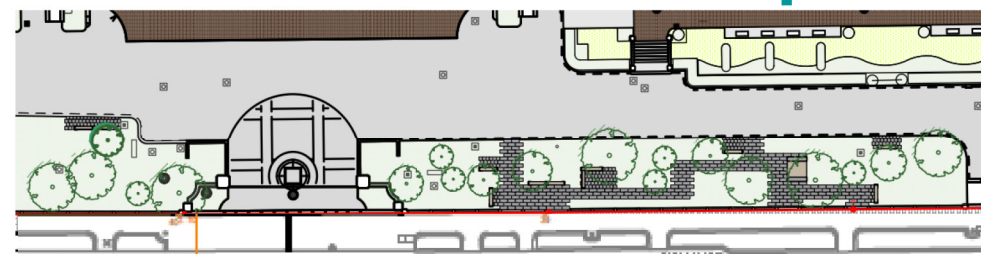
ワーフハウス側から見られる景色

港の景色とバイブリッジ、公園の芝生広場や花

沈床花壇側から見られる景色

氷川丸やシダレザクラ、ホテルニューグランド

氷川丸とシダレザクラ



沈床花壇側



ホテルニューグランド

◇ 設計の考え方

- 新たな入口／小路／ベンチの整備に伴い 夜も公園を安全に楽しめるよう照明を整備（照度や色温度は園内の既存照明に合わせる）
- 公園通り側の夜の新たな魅力的空間としてフラットバーに照明を整備
- 樹林地内の照明は樹木への光害を防ぐため、樹木の枝にスポット照明を配置（樹木ダウンライト）

◇ 使用色・素材

- 金属製とし、横浜市景観計画に準拠した色見とする（ダークグレー）

